日伯新聞

ブラジル國サンパウロ市リベルダーデ街一四六番
發行所　日伯社
本紙定價一年金三十ミル
外國郵稅共金六十ミル
廣告掲載料
十五字詰一行八百レース
一面及八面二百レース增

診察時間午後三時より六時まで
ドクトル
高岡專太郎
ルア　ファッセデス八
電話　二—四一八〇

ちわてるに及ばぬ

本月十二日在東京ユーナイテッドプレス通信員は非常に突飛な問違ひ電報を飛ばした。曰く日本政府は駐伯有吉大使の建策に基き、爾今ブラジル行移民の四分の一を減ずることとした。尙大使の意見によれば多數移民を送ることは排日氣運を醸す惧れありと云ふのである。

▲これに對してサンパウロ帝國總領事館は、あわただしく各新聞社へ取消の聲明書を發し、いやそうじやない有吉大使は少しもそんな建策はしたことがない。實際は日本はブラジル行農業移民を奬勵し度いのだが、船腹に限りがあり自由移民を無暗に渡航さすことは出來ないのだと述べた。

▲すると今度は大使館が、多分野田書記官どもの話でもあらふ。事や細かに釋明して、通信電報の間違ひから、實際の事情までも明かにした上、日本政府は未だ曾てブラジルへ苦力などを送らふと思つたことがないとまで付加へて居るイヤいつもながら御念の入りましたことで。

▲双方とも悪いことをしたのでないから批難するに當らないが、どちらもあわてて過ぎてる。サンパウロの方は出先の官憲が何か邪魔してるやうに思はれてもツマラないし、第一有吉大使に氣の毒、と云ふ下僚としての忠義立が聲明書を發するに至つたものであらふ。リオの方は天晴れ外交の手柄でもした氣で居るらしいが、實は云ひ過ぎて本音を吹き過ぎて却つて失敗してる。

▲沈默は金なり。實は打棄やらかしておいてよかつたのだ。年ゝ一万から一万五千も來かゝつてる移民をいくら帝國大使だとて一朝にして之れを四分の一減じてしまへなどと云はふ道理がない。如何にブラジルの當局者がお人好しだと云つても、それをう呑みに信用するなどのことはあり得ない。誰だつて電報が間違つてることは直ぐ氣が付く。

▲殊に間違ひの因つて來れる所は大使館や領事館では能く解つて居て少しも心配する所はないのである。何もウソ電報が出たからとてアタフタあわてるには及ばない。問題はチャンと極つて居たのではないか、有吉大使には若干氣の毒だが、之れも災難と思つて我慢して貰ひ、何も云はずに默つて居れば一番賢明であつた。若し新聞にせがまれたら「そんなことはないよ。何かの間違さ、ユーナイテッドプレスは兎角あわて者だからなあ」と空とぼけて居て澤山であつた。それを御丁寧にも本支店揃つて聲明、成程ね、その邊が外務省の外交とか云ふんだらうが吾人には云はすれば爲さずもがなの無駄事だ。餘計な事をシヤベッタ爲めに二三ケ月後の事實が却つて眼立つて恥しい思ひをせにやならん。

▲大使館の聲明する所によれば自由移民は出來るだけ減少して云ゝとあるが、來月神戸を出帆して五月玆に着く移住組合の植民はどうであらふ。二割五步の協定を破つて五割若しくは六割になるだらふとの情報が届いてるではないか。其他バラー州行モルモット移民、これ等は決しサンパウロ州政府やファゼンデイロが良い眼を以て見てくれない。サントスに移民が澤山上陸したが珈琲園に行くものは至つて少く、大使館の所謂ベケナブロリエクリオが多いとしたら、先きの聲明の手前どんなものであらふ。だから云はないことではない。默つて打棄やらかしておけば一番よかつたのだ。餘計なことをシヤベルからいけない。

▲大体米國通信社からの日本電報はいつも碌なことがない。地震火事洪水の慘事から財界のパニック政界の不正事件、殆んど日本の悪ことだけ宣傳してるやうな傾向で、日本の良いことつたら何一つ通信したことがない。これが爲め出先官憲を始め在外邦人の迷惑してることは一通りでない。今度のことでもそのよい證據で、こんな例は從來いくつもある。然るに日本政府では之を如何とも爲し能はぬと云ふのだから情けない。情報部などと云ふケタイなものもあるが悪事の宣傳を放任して、良い事の宣傳は怠つてる。

▲國力の相違で何とも仕方がないと云つてしまへばそれ迄だが、今後の日本が國際的に活動するに對し、この儘では到底堪えられたものでない。日本の通信者に船會社同樣の補助金を與れて宣傳させるのも一法であらふ。何とかして貰はねば助からない。

▲之れを要するに今回の電報通信一件は、日本側少ゝムキになり過ぎてる。マンマと米國通信のウソ電報に乘せられ、大使館が獨りで踊つた型だ。而して餘計なことまでシヤベって居る。何にもそうあわてるに及ばない。默つてコツコツやつて居れば、それでよいのだ。

▲序ながら云つておく、自由移民の比率決定など、外字新聞には白狀する勇氣を持ちながら、我ゝ邦字新聞には秘し匿しにかくして居る大使館や領事館の態度も面白いものだ。それで居て平常は協力一致してなどと、利いた風なことを云ふ、少ゝ虫がよ過ぎはせぬか。

○雜報○

伯國郵船擴張か

英國筋より寶船申出

ブラジル郵船では先きに大戰後獨逸船を分捕つて就役せしめたる外別に新造せる各船とも老朽に達したるが去十四日英國クライス造船所より十八隻を建造買却方を交渉してきた、即ち貨物船十二隻客船六隻を長期支拂で建造に應じ樣と云ふのである建造費總額百五十万磅で政府の補助金をさいて之が支拂に充當しやうと云ふのである、伯國ロイド幹部に於ては大体擴張に傾いてをると。

大統領の英斷

不正稅關吏二十三人を首切る

昨年以來リオ港稅關吏中には市中の商人と結托して絹物其他の脫稅を圖つて居た爲め幾度か新聞の攻擊を受けて居たが大藏大臣ボテリヨ氏は之れが廓清を決意し嚴重取調の結果此のほどに至り罪狀明白となり去十二日大統領の裁斷を仰ぎリオ稅關長ソーザドルジエス氏外二十三名を罷免してしまつた、リオの諸新聞紙は何れも大統領の英斷をほめたたへ國家の爲め至當なりと結んで居る。

ミナス州統領はメロ・フランコ氏に

ミナス州統領後繼問題は聯邦のそれと關聯してるだけに久しく問題とされて居たが昨今に至つてアフラニオ、メロ・フランコ氏がなることに決定した模樣である此報一度傳はるや一般は非常に好感を以て迎へた、同氏は政治的閱歷において申分なきのみならず現州統領アントニオカーロス氏とは青年時代からの同窓であるうへに近來殊に親しくして居た關係もあり斯くして同州政權の授受は圓滿に行はれるものと見られて居る。

市場は不景氣

昨年以來サンパウロ市場は引續き不景氣風におそはれどの方面の商賣も不振である中にも紡績界は最も打擊が著しく關稅の改正も更ら

打ち明け話し
教師の卷（四）
臥龍散史

所が時と場合に依つて圓滿な解決がつかない事がある。それは先生の方が既婚者であつて然も已に二三人ものパパイである場合だ。斯うした戀愛の經驗者が無智な、そして、はち切れそうな肉体を持つた處女の生ゝしさに一寸興味を持つて、ちよつかいを出した場合である。これがあらゆる社會を通じて人倫に背いた不道德行爲である事は云ふ迄もない。いはんや教育家である。それが社會的の超ゝに彼等を保護するに至らず却つて英國の製造家に安心を與へて有利な地步を占めさせた嫌ひあり今や聖州内の同業者は聯合して目前の窮狀を如何にして切りぬけるかに頭を惱してをる、また靴製造方面を見るとこれ亦御多分にもれず本年に入つて破產十七軒を算してゐる有樣であるその他唐物商にも破產十三軒中には負債二万コントスなどと云ふものもあり、金物商も青息吐息ガラージ、パン屋菓子製造など破產續出の模樣である。

大問題として、やかましく云はれる事は、あたり前である。尤も日本あたりの最も新らしい思想を持つ一部の人に云はせると『先生だつて人間である。人間である以上自己の本能の命ずるがまゝに戀愛するに何の不思議があらう。新らしくていゝじやないか。』なんて云ふかも知れない。しかしブラジルに於ける我ゝの社會に、こんな思想が許されるのは恐らく百年の後だらう。

右の例がつい去年これもノロ線にあつた事を僕は人傳にて聞いてゐる。何しろ植民者側は非常な立腹で社會的に葬ると迄意氣まいたそうだが、その先生の、それ迄の功勞に免じて只村から追放するに止めたそうだ。

話が今度は大部下つて來た。もうこの位で止めやう。

唯最後に僕は一言し度い。『世の父兄諸氏よ、金を出して雇つてある以上、先生だつて一日半日のカマラーダと同じだ。と云ふバトロン氣分は止して下さい。兒童の前で先生のタナオロシはしないで下行けばいゝのではない。やはりあなた方と同じやうに何とかして一旗上げたい希望でブラジルに來てゐる者である事を考へて下さい。それから最後に先生も先生である。と云ふ事を考へて下さい。

◆廣告◆

水戸黃門
全國漫遊して
惡役人共を戒む

日本六十餘州を漫遊して惡政を改革した光國公は實に政事家のかがみと云はれて居りますが公があの大業を成されたのも要するに身体が健康だつたからであります。

マラリヤを
全治した藥
"Malaria Cremonese"
の世界的發見

伊國政府が公式にその効果を發表して以來イマラリヤ・クレモネゼはマラリヤ其他熱病の妙藥であるといふことが定評になりました。農家に備へて置かなければならぬものゝ一つです。

至急
左記ブラジル總代理店へ御照會下さい
ZAPPAROLI & SERENA LDA.
Caixa do Correio, 1096
SÃO PAULO

CASA TOZAN
Mizukami & cia.
Commissarios
Rua Cidade de Toledo No. 25
Caixa, 911 〃 〃 Phone., 2837
End. Teleg. "TOZAN"
SANTOS

開店御披露

サントス市に於ける日本人最初の珈琲コムミッサリオ店として愈々今般上記の名稱を以て開業する運びに至りましたことを茲に謹んで御披露致します

豐富な資本と誠心誠意を元手として努力致します

から皆樣も折角生れた新店を成育させる御旨意で

「赤子には乳、カーザ東山には珈琲」といふ對語を想ひ起されて向後珈琲の御賣却に際しては是非是非弊店御利用の程只管御願ひ申上ます

尙ノロエステ線弊店代理人はブロミツソンの間崎三三一氏に御依賴しましたから御併用下さい

サントス市
カーザ東山
ミヅカミ、イ、コムパニア

BANCO ESPECIE DE YOKOHAMA, LTD.
(THE YOKOHAMA SPECIE BANK, LTD.)
Rua da Candelaria No. 23
Caixa Postal, 380 — Rio de Janeiro
切リトリテ手紙ノ表ニハラレメシ
リオ・デ・ジャネイロ
横濱正金銀行支店

郷里送金
一、御送金の伯貨は當店にて受取りたる當日の爲替相場にて日本金に換算可仕候
二、日本内地郵便爲替料、書留料其他總て當店に於て負擔いたし卽ち全く無手數料にて御郷里の受取人へ送り届け申上候
三、金子は現金封入、郵便爲替又は銀行小切手にて當店へ御送り被下度猶横濱正金銀行勘定として
Banco Commercial do Estado de São Paulo
又は御便宜の方は
Banco Noroeste do Estado de São Paulo
へ御拂込被下候ても差支無之候
四、何れにしても送金申込書は必ず忘れず當店へ御送り下されたく候

預金
日本貨定期預金利息六ケ月以上年四分五厘
伯貨定期預金利息（六ケ月以上年四分五厘 一ケ年以上年五分）
伯貨當座預金（小口）年四分
▲預送金用紙は御請求次第直に御送り可致
御不審の點は御遠慮なく御問合被下度候
▲預金通帳は書留郵便にて御送付可申上候
間御申込の際最寄郵便局御指定相成候はば御便宜に有之候

THEODOR WILLE & CIA.
RUA LIBERO BADARÓ, 52
Caixa Postal, 94 - S. PAULO
諸君の收穫は常に土壤中の養分を搾取してゐるのですから此重要な成分を旨く土壤へ補給してやるのが如何に必要であるかを御考へ下さいその必要を充たす爲めには弊商會のチリー硝
テオドロ・ウヰル商會
石等の肥料に及ぶものはありません
▲肥料は一切の作物特にバタ、ミリヨ及野菜等に効力卓絶であります
◎チリー硝石　◎加里肥料
◎レナニヤ燐酸肥料

F. S. Hampshire & Companhia Ltd.
S. PAULO : RUA ALVARES PENTEADO, 17 SOB.
SANTOS : RUA 15 DE NOVEMBRO, 147 SOB.
母國へ一番早く着く船
◎神戸までサントスから六十三日
日本郵船の船は毎月一回南阿經由神戸に向けサントスを出帆します
船内衞生設備の完全、食事の優秀、乘組員の懇切については定評があります
○備後丸　四月十一日サントス出帆
神戸又は横濱迄（一等 二三〇〇ミルレース　二等 一六〇〇ミルレース　三等 一〇〇〇ミルレース）
日本からお呼寄せの便法
日本から呼寄せられる方の乘船賃を當地郵船代理店へ豫めお拂込になれば乘船券發行指圖書を差上げますその指圖書を日本内地の御本人にお送りになつて乘船地の郵船支店で乘船券と引換へられるのです、この取扱は送金の費用や手數が省け且つ最も安全な便法です
—出帆日取其他細詳は上記代理店へ御照會願ひます—
日本郵船會社

▲最近電報

支那の排外熱高まる

【上海十九日】國民黨一派の間には最近著しく排外熱が昂つてきたその爲め英國砲艦は南京急行を命ぜられた、南京よりは日〻多數の外國婦人小兒などの避難し來る者あり。

フオッシュ元帥逝く

【巴里二十日】フオッシュ元帥は午後五時四十分遂に逝去した。（歐洲大戰中の聯合軍最後の總司令官、去月十四日以來病む）

○雜報○

アントニオカーロス諦めきらず

ミナス州統領アントニオカーロス氏は今尙ジュリオプレステス氏の後繼統領は不可なりと云ふことをワシントルイス氏に解らせ樣としてる新聞戰略にも相當金を使つて居るが大勢を如何ともしがたく其結果は不首尾に終るだらふと見られておる、ミナスが大体に於て聯邦の政策を贊成してをる時にさりとはカーロス氏の諦められぬこと

替爲安定あぶなし

幾度か打消して居るにかゝらず政府の替爲安定は依然としてあぶないとの評判は消えず外國銀行などは何れも極度に警戒しておる政府は今回更らに倫敦市場で千五百万磅を起債して安定局の基金にしやうとしてるが玄人筋では之れをコカイン注射だらふと評してゐる位に一般にウケが悪い替爲も辛うじて五片三十二分の二十九見當であるが兎もすれば下向き勝ちである

フランス行

冷藏肉減稅

さきに伯國政府から佛國行冷藏肉の關稅經減につき交渉するところあつたが今回右交渉成立し伯國側の希望を容れて減稅することになつたと

聖州移民狀況

サンパウロ州は過去百年間に二百四十一万八千八百五十七人の移民を入れてるが最近の移民傾向につき收容所長マルセロピーザ氏の語る所によれば最近著しく補助移民が少くなり自由移民が增加し全休の四割五歩强となつた補助移民は四割七歩强で將來この數は反對の傾向を表はすだらふと

革命殘黨首領消息

マウリンオ氏會ふて歸る

革命殘の中ではカーロス・プレステス氏獨り人氣をあつめイヂドロ將軍は無能殆んど忘れられてをる

子ーバ氏

リオ衞生局長か

十九日アルツール・ネイバ氏は突然リオに行つた、消息通の間では現衞生局長クレメンチノ・フラガ氏の引退は間違ないところ、大統領はネイバ氏の手腕を認めて之れを拔擢するものらしい

リオ政界のあばれ者マウリシオ・ラセルダ氏は先頃亞國に舊革命殘黨を訪ねたところシケーラカンポはベノスサイレス市で店を持ち伯國の產物を賣つて居り、カーロスプレステスは工兵出身だけに技師としてサンタフエ市の市街改築請負工事をやつてるなど、それぞれ生活の方法を立てゝをるマウリシオ氏はこれ等革命殘黨の能住ひを訪ね親しく彼等と意見を交換し、就中ルイス・カーロスプレステス氏の人物に推服した模樣である

墨西哥內亂

政府側着〻勝利

其後の形勢は大体に於て政府側に有利でカイエス將軍は大學してトレオン市に向つて進軍しつゝあり反軍は之れを避けてトレオン市北方百哩の地點に退却し、そこで決戰すると報ぜられて居るが恐らくは實現すまいと見られて居る、尙別報によれば反軍はマザトラン市（帝國領事館所在地で春明廊明氏の居る所）を包圍し近く之を攻撃するだらふとのことである、反軍側では既に休戰を申込んだと傳へられるが政府は耳を傾けずと

話の種

海興の名物男明穗柳吉さんがお若く見えることは內外人の間で誰知らぬ者もない▲ところで此人には三十幾つかになる實と云ふ大きな息子があるどうしても親子とは見えぬそうな▲或日のこと明穗君瀨木商店に立寄つて四方八方の話の末おかみから『時に明穗さんあなたと實さんとドッチが上なんですか』ときかれたものぢやゲナ▲これには流石の明穗君もギャフン。

娘を賣るな

紙上匿名は差支へなきも住所姓名明記なきは發表せず

噴火

『持參金一万圓附の娘』。虛か本當かこれは日本でよく聞いた話だがブラジルへ來て見たらそれが全く反對で、三國一の婿殿、金を出して娘を貰ひ、否買ひうけてゐるといふ始末。

何んぼブラジルと云ふ所が『金儲け』なるものを第一義として來てるとは云へ、娘まで算盤球にのせると云ふ事は余り恥なことではないか。そんな事をやる父兄等が『結婚』と云ふものに對して、果してどんな見解をもつゐるか、私のみる所では娘と云ふものを一個の器物扱ひにしてゐると思ふ。凡らく將來の事など爪の垢ほども考へてゐないだらうし、目前の利益といふものにボーッとなつてゐる頭には、嫁ぎ行く娘の氣持なるものが解ろう筈がない。

準備金の一部として幾許かの小金を贈つてもらうと云ふのは結納の變形として認められないな事はいけれども、頭から『何コント戴かねば……』と頑張つてゐる有樣はまるで地獄の態だ。

今ブラジルの田舍に都市に青年が充滿してゐる。嗚呼、それだのに、それだのに、何とまたあまりに少ない娘の存在であることよ。即ちこゝに守錢奴のネライ所があるのだ。

青年たるもの大いに自重する所あれ。同時に日本女子たるもの切に感ずる所あれ。更に又その父兄たる者よ。私は今最も敬けんなる心をもつてアナタの胸の扉をたゝく……。

—よりよき幸福を希ふが爲に—。

（ノロエステ線　獨　生）

敵は本能寺に

日伯社長は人が悪い。可哀相に聚津金六が一生懸命に書いておるのに知らん顔をしてをる。あれは政友會の上塚司から依頼して來たのを知つてますか。それよりもあのコンセッションを賣るのに邪魔なのです。主義主張の問題でなく聚金が喰つて行けるか行けぬかの問題です。（リンス一愛讀者）

Casa Uehara
食料品及雜貨販賣
歸國者御用達
上原商店
六十ロプンテッセデテッセゴルラ
四〇八一　話電　市ストンサ

測量、製圖、建築
電氣用諸機械據付
見積計畫、土地調査、道路工事請負
並設計
其他土木に關する一切のお求めに應じます
土木技師　野村秀吉
北西線　プロミッソン郵函八

御料理
すし
うどん
そば
店內改修淸潔を旨とし精〻勉强致します何卒倍舊の御愛顧を願ひます
コンデ坂上三十三番
あをやぎ

鶴
上等醬油
並精製酢
◎多少に拘はらず御用命下さい
アゼベード・ジュニオール一六
大野鶴龜釀造所

MISSÃO JAPONEZA DO BRASIL
聖州義塾
寄宿舍、夜學校
葡語通信敎授
主任　小林美登利
サンパウロ市ガルボンブエノ八十五
サンパウロ敎會
日曜學校（午後四時）
大人集會（午後八時）
Caixa, 2-z - S. Paulo

Dr. RIBEIRO NETTO
Consultorio: Praça da Sé, 43, 2. andar, Salas 223 e 225
Residencia: Avenida Luiz Antonio, 319 - Tel. 7-2767
大人小供
內外黴毒
診察所プラサ・ダ・セ四三—三階第二二三及二二五號室
但し午后二時より四時迄
住宅アベニダ・ルイス・アントニオ三一九
電話　七—二七六七

Casa Palma
ARAÇATUBA - E. F. N. B.
正直薄利多賣
內外乾物、酒油類一切、反物、出來合服クラーク、フオクス其他靴類ミシン、金物類其他
本店は當市でも舊家で以前から日本人諸氏の御贔負を蒙つて居ります

Dr. JAYME DE OLIVEIRA
ARAÇATUBA
手術、分娩、婦人病
エッキス光線
紫外線　デアテルミー
最新式電氣醫療機の設備あり
ノロエステ線　アラサツーバ驛
ドクトル　ジアイメ・デ・オリイベラ

Pharmacia Tabatinguera
Rua Tabatingueira, 2 - Tel: 2-5315
內外藥品一切
調劑正確、迅速
安價、凡ての御用命に應ず
日本字の處方にても受付申すべく候又郵送も致すべく候
タバチンゲイラ藥店
調劑主任藥劑士
宜保寬良

伊藤齒科醫院
伊藤達馬
ンソイセンコ・ライヴ
イグリビ

CASA GONÇALVES
RUA GENERAL CARNEIRO, 53-55
FILIAL 35
鎭鑄製
ニッケル製
マントル
一〇〇仟
一一〇仟
三仟
五十仟レース
マントル二仟五百
手紙一本
書くにしても新聞一枚讀むにしても弱いカンテラの光ではどんなに御不自由だつたでせう今すぐ當店賣出しの輕便經濟强光力無壓力式
ガゾリン・ランプ
をお買ひなさい、ガソリン消費量は毎日六時から十時半まで灯したとて單燭光なら月二仟百二十燭光なら月四仟で盲の樣な生活から樂しい夜がおくれます
風雨の夜の携帶用として絕對品

同仁會バンフレット第五號
○マレタをどうするか？
此小冊子は素人で出來る豫防と治療の方法を說いたものです、季節柄皆さんの御一讀をおすゝめします、御希望の方へは御申越次第無料で差上げます、尙日本人會や靑年會のある處は纏めて御申込下さい。

同仁會推奬のマレタ藥
○キニーネ錠劑（一瓶百二十錠入）
此藥品は實費（送料共）一瓶十七ミルレースで差上げます。但し會員に限り三ミル割引して十四ミルレースで差上げます。

在ブラジル日本人同仁會
DOJINKAI
CAIXA, 2976
S. PAULO

貸自動車は同胞運轉手の居る
Garage Congresso
Teleph. 2-0081
ガラージ　コングレツソ
電話　二…〇〇八一
プラツサ・ジオンメンデス

Y. KINJO
CIRURGIÃO DENTISTA
Rua Vergueiro, 125
TELPH, 7-3384 - S. PAULO
齒科醫
金城山戶
聖市ヴエルゲイロ一二三

コローノ及耕地監督募集
一、コローノ十家族及耕地監督壹名募集
一、當耕地は術生及敎育の設備完全せり
一、耕地監督は獨身ものより家族ものを可とす
一、監督希望者は左記事項記載の上照會せられたし
本籍、年齡、渡航の時日、渡航後の經歷、家族の狀態
一、希望者は左記へ照會せられたし
アリアンサ移住地事務所
C. Kitahara Fazenda - ALLIANÇA
LUSSANVIRA
NOROESTE

CHEVROLET
新古カミヨン
並に乘用自動車の御入用の節は是非下記まで御申越下さい。自動車に充分の經驗と智識を持つ小生が責任を以て御希望に添ふ車を他より安價に御世話致します、尙各種附屬品も販賣致します、新貨物自動車御購入の方には長期月賦の便を取計ひます
トピアス・デ・バーロス會社
代理人　林岩松
Rua São João 140　Tel. 4-0015
Rua Arco Verde 360 - Pinheiro
S. PAULO

是非一度ご家庭に
お試し下さい
マヤジフ印醬油
ノロエステ線　ペナンベ驛
カフエランヂヤ町
藤澤豐次郎

KALKMANN IRMÃOS
& PETERS LTD.
Rua das Flores, 46 - Caixa, 1979
S. Paulo
ローラメント
珈琲精製機
並精米機用
獨逸式特製
ローラメントは上記へ御用命を乞

雨窓物語

時雨坊

其の十二

お國自慢は北米人ばかりでない伯剌剌剌人もよく遣るよ、外國人がりでないよ、日本人も外國人相手の時はよく話すぜ、殊に世界大戰前までは忠君愛國の精神は我ゝ日本人ばかりの所持品だと思つてたものだよ、中にも鹿兒島縣人はお國自慢が多い樣だ、

昔はそふだつたなあ、何と云つても鹿兒島には大將が薩摩芋の樣にごろごろしとつたのだからね、然し君、お國自慢は世界的だぜ現世界の諸國民ばかりでない、天國でも同じらしいね、

まさか天國に入つてから迄お國自慢はすまい、

でないよ、僕はこんな話を聞いたよ、

去る二月二日、天國で神がモイゼスを呼出して、

モイゼスよ、其方に、地の世界を支配せよと命じた事を、よも忘れはすまいな、

仰の通りで御座ります、

近頃地上の人の子等は勝手に自分が他よりも豪いと思つて居て、其の何れの國休も自分等が一等國民だと思つて居て、お互の眞の平和を缺いて居る樣に思ふ、其れは十年前の世界戰爭の勝利者が今にお互の間に判明して居ない結果だと思ふが、

御尤もで、

其處で眞の平和を招來する爲めには其の勝敗は何れであつたかを、決定せねばならん、

御尤もと存じまする、

一体あの大戰爭に勝つたのは何國であつて其の功勞者は何人であり或は何國であつたのか、地の國の支配者たる其の方の意見を聞きたい、今日此處に呼んだのも實は其の爲めである、どふだ、

此處は天國で、然も神樣の前でござるから、地の國に居る時の樣に嘘言は申上げますまい、實際有体の事を申上げます、打明しました

る處此モイゼスも未だ何國が或は何人が勝つたのか敗けたのか判然申上兼ねます、萬能の主たる神は御前は無論其當時の新聞や官報で以前に御承知の事と存じまする、折を見て御伺致す筈で御座りましたが終其機を逸して逆に御尋問に預りまして恐縮に存じまする、此後更めてお尋ね申上ます、世界戰爭の勝利者は何國と定めて然るべきで御座りましやふか、

ケ、チャボ、其方は下界地の國の支配者ではないか、神は絶体、無限で萬能の主であるとは人間共の言葉だが全然境界を別にし殊に遠距離で、飛行機がもつと發達せねば此天國に居る自分等に地の國の事が判る筈はない、亦た總てに超越すべく現にして自分が地上の出來事に何の關係があらふぞ、亦た關係すべきでもない、重くにごりて、永しへに凝りし地上に生れたるけがれたる個多き小さき人の事に關係しては清く高く永久に流れてなりし美しき天に得たる無限の位置を捨てんばならぬ、其れは自分には馬鹿馬鹿しい極である戰爭中も其以前も自分は絶体に中立を保つたのだ、無論新聞も遠距離の爲め舊聞だから見ない事に決めてゐる、カイゼルからの數度の請願も同盟條約も全然拒絶した事を其の方は知つてるだらう、今や戰爭も終つて既に一昔、萬國平和會議とか、軍縮會議とが、不戰條約とか締結されたやうに昨日漸く届いたラヂオで聞いた、世は再度平和となつたのだらふ。

一時的に假に平和らしくなりました、此の一時的平和を裝つてる間、人道だとか、神の道だとかの言葉が人間界に流行します。

斷想雜思

（二）　三美

正述心緒

とこしへに逢ふすべなくも妹をおきて他心を吾は持たなくに。

愛けやし吾が思妹を遠くおきて息ふ時なく戀ひ渡るかも。

吾が妹と二人し見ばいくばくかこの照る月の樂しからまし。

君います都やいづこ遠山に、たなびく雲の彼方にてあるらし

會はぬ日の數多を續けば今更に妹を忍ぬびて利心もなし。

妹は今何をなすらむ吾を忍ぬび利心もなく戀渡らむか。

現世に命のかぎり暫しくも、汝と我と戀ふことやまぬ。

吾妹子し我を思はば久方の、天照る月の影に見え來ぬ。

敷島の大和の國に人二人在てふ歌を忘るな吾妹。

獨り居て戀ふれば苦し眞あらば心安めむことはかりせよ。

後に逢はむな忘れと妹は云へど何時とや待たん我は死べし。

心をし君に奉ると誓約ひせし戀には死なむ惜しけともなし。

人言の繁くなりなば戀ひ余り死をば共にと云ひし君はも。

すべもなく思ひ亂れば唯一人吾は戀ひ死なむ妹が名呼びつ。

詩歌讃仰

蜂雀

舟人

神綾のたかぶる儘ををのきて花にぞ觸るる蜂雀かも。

南國の色彩を見せて明るくもををのきて乍ら飛ぶ蜂雀。

天を突き並びそびえし竹の秀のゆれあふひまを白雲通る。

大空をのもををのに雲のりて片山ひでり片山かげり。

空の雲は輝きあひて目地の限り光り影りむあの山この山。

路の邊に下りて遊べる鳥どちは人なづみとく飛び立つとせぬ。

陽を包む雲の片端の輝きて鳶鳥の群の舞ひの靜けさ。

鬱蒼と茂ふるマンゴー樹蔭より漂よう臭ひもただならなくに。

アリアンサ陸稻會句集

『題』――蜥蜴、薫風

窓掛を白きに替へて風薫る。　女

薫風や女勝ちなる騎馬の群。　同

白日の沈默を走る蜥蜴哉。　同

走り去る蜥蜴の尾波草遠く。　同

校庭にとかげ遊べり日曝日。　同

薫風や隣家のマット伐たる。　主石

開け行く珈琲畑や風薫る。

（入植記念祭に）　同

尾を立てゝ逃げ足早し大蜥蜴。　同

ラガルトの穴守る犬や振返り。　同

珈琲の花まばなり風薫る。　洲男

薫風や若葉爽やかに峰續く。　八

土均ゝテニスコートや風薫る。　同

薫風や枝を撓めて下がる蔓。　同

晝寢覺蜥蜴居るなり小屋の內。　同

薫風や空鳴き渡る番ひ鳥。　掬二

薫風やマモルに來る蜂雀。　同

優良日本種子新着

在庫品殆ど賣切の處へ今度の船で新しい種子物が豐富に着きました。良く芽へ品種の優良なる點は常に御客樣より高評を以て迎へられて居ます

聖護院大根、時無大根、宮重大根、練馬大根、櫻島大根、方領大根、白長二十日大根、大王蕪、聖護院蕪、天王寺蕪、時無小蕪、大王白菜、朝鮮白菜、山東白菜、縮緬白菜、千筋白菜、均子菜、新菊菜、三ツ葉、菜大葉高菜、白莖体菜、東京太葱、瀧川午蒡金時人參、甘味瓜、大白瓜、大長ナス、青長胡瓜、節成胡瓜、フダン草

◉其の他伯國種子物各種取揃

增量（定價小袋十袋に付五餅レース送料共）（多量御入用の節は御り賣も致します

聖市　コンデ・デ・サルゼーダス

輸入元　中矢商店

郵函――一九九五

Stewart

スチユワート　カミニオン

貳拾五年間の永い經驗と研究から生れたのが此の貨物自動車です

私の買ひたいのは少なくも五年以上保つのでなければやと仰しやる方には本車でなければなりません

總代理店

ジエー　コルビシエール　株式會社

G. CORBISIER & C. LTDA.

RUA B. DE ITAPETININGA, 67

PHONE: 4—6872

ARMOUR

OF BRASIL CORPORATION

FRIGORIFICO S. PAULO

Alameda Cleveland, 34-a - Caixa, "T" - S. Paulo

アルモール會社

調製の肥料は既に長年日本人農家諸君の間に定評があります、當社工場で調製に係る肥料は左の如し

屠殺殘物肥料 (Adubos Frigorifico)

千キロに付　三百八十餅

窒素含有量　四・五〇%

骨燐含有量　二八―三八%

乾血肥料 (Sangue Secco)

千キロに付　六百五十餅

窒素含有量　一四%

養豚飼料

千キロに付　四百六十餅

サンパウロ郊外アナスタシオ工場渡し

日本人諸君の御便利を計りアラメーダ・クラヴランド三四Aに澤山ストツキを置く事に致しました

世界に雄飛せる

大阪商船會社

昭和四年南米命令線發着表

日本より　日本へ

神戸發	サントス着	サントス發	リオ發	日本着
●もんてびでお丸	二月二日	三月二十日	四月十六日	四月十八日	六月十八日
はわい丸	三月十二日	五月二日	五月卅日	六月一日	八月二日
●らぷらた丸	四月十七日	六月一日	六月廿七日	六月廿九日	八月卅一日
●さんとす丸	五月十一日	六月廿六日	七月廿二日	七月廿四日	九月廿四日
まにら丸	六月廿日	八月十日	九月七日	九月九日	十一月十日
●もんてびでお丸	七月廿四日	九月八日	十月六日	十月八日	十二月九日
はわい丸	八月卅一日	十月廿一日	十一月十八日	十一月二十日	昭和五年一月廿一日
●らぷらた丸	九月廿八日	十一月十三日	十二月九日	十二月十一日	二月十一日
●さんとす丸	十月廿六日	十二月十一日	昭和五年一月八日	一月十日	三月十三日
●新造大型船	十一月十六日	十二月卅一日	一月廿四日	一月廿六日	三月廿三日
まにら丸	十二月廿一日	昭和五年二月十日	三月十二日	三月十日	五月十三日

●印　御馴染の新造客船　・印　最新式新造客船

日本行船客賃

一等　新船　二、五三〇ミル

その他　二、三〇〇ミル

（外に一等出國稅八〇ミル）

三等　別室　一、一〇〇ミル

普通　一、〇〇〇ミル

（外に三等出國稅二五ミル）

十二歲以下半額、七歲以下四分の一、三歲以下無賃

三等洋食率は別室二七五ミル、普通二五〇ミル追加

一、政府命令船で全部最新式ディーゼル機關新造船と大型快優速船ですから日本行一番早くて間違ありません、殊に日本行き「サントス出帆日は他の社船と異り變更ありません。

一、御歸朝の節は有名な「パナマ」運河及び北米諸港御物見が出來ます

一、御乘船切符其他手續は弊社指定仲次旅館聖市の旭、小川、末廣、常盤、東京館、上地、大和及「サントス」市の平和旅館、成功館、潮ホテル（ABC順）が無料で親切に御取扱ひ致します

▼詳細は左記へ

Antunes dos Santos & Cia.

S. PAULO — Rua B. de Itapetininga, 39-41A

SANTOS — Rua do Commercio, 84

Wilson Sons & Cia. Lta

RIO DE JANEIRO — Av. Rio Branco, 37

▲日本より家族御呼寄せの方には船賃を當地で拂込願へば日本よりサントス乘船切符（指圖書）を發行致します。詳細は左記へ御照會願ひます

聖市、サントス旅館組合

邦人學校問題（再び）

ケー生

三、日本人の風俗習慣を學び得ぬこと、

或人は此處にゐる邦人子弟は將來伯國市民として立つものであるから敢て日本の風俗習慣など分らなくとも差支へないと云ふ、一應尤な言葉の樣だがそれは日本人が全然伯人と同等に社會的地位を得ることが出來又將來日本とは何等交渉を持たなくなるものだと云ふ前提の下にのみ正當であり得るものだ、私は日本人が此國の社會に白人と同一の地位をカチ得ぬものとは言はぬ、努力の如何に依つてはファゼンデイロにも辯護士にも大臣にもマカリ間違へば大統領にでもなれるかも知れぬ、然しそれは特別に傑出した人物の現はれた場合に可能である範圍を想像したものであだかもコルシカ島にナポレオンが生れたからブラジルにもセシルローズが出ぬとも限らぬと言ふに過ぎぬ、決して之を以て日本人の地位が白人と同一であり得る證明とする譯には行かぬ、我ょは事實を根據として常識的判斷を下すとき遺憾ながら日本人はブラジルの社會に白人と同一に取扱はれる爲に甚だ不利な一の要素を有つてゐるに氣付かざるを得ぬ、他なし我ょが黄色人であること之である。

論者は言ふブラジルでは人種的僻見などないと、私もその稀薄なことは認める、然し不幸にして無しと斷言し得ぬものである、否程度の差こそあれ、又北米の如く露骨でなく從て我ょの耳目を聳動さす樣な事實に出會さぬとは言へ彼等の人間觀の基調は矢つ張り白人優越思想であることは多く啻ょの辨を須ずともリオ醫科大學長ミグエルコウト博士が優生學の立場から日本移民に反對してゐるに見て明かであらう、黄人は白人に比して果して劣等なりや否やは今玆に論議すべき問題でない、問題は如斯差別觀の存する社會に我ょは白人と同等の地歩を占める爲に諸種の困難を有たねばならることである、論者は更に言はむ果して如斯困難な立場に我ょがあるならば日本式教育は愚にて此困難を一層大ならしむるに過ぎないではないかと、然り夫は慥に一面そう言ふ結果を招くかも知れぬ、然し人間は機械でなく教育は財物でない、社會的に不利な立場にある日本人に取つて唯一の武器は各ょの力量である、而して各個の力量は主として教育の結果に從つて得られるものでなければならぬ。

言ふ迄もないことだが日本人には日本人特有の傳統があり性質がある、それ等は世界人としての弱味となるものもあるが押しなべて強味となるものの方が優つてゐる我ょの忍耐、勤勉等の素質は之を以てのみ初めて白人と對抗して行ける大切な要素である、現在伯國に在る邦人が脛一本からシチアンテどころに迄漕ぎ付けたのは何より雄辯に之を物語つてゐるではないか、若し彼等の忍耐、勤勉等の素質が缺けてゐたら彼等は今日尙一介のコロノであつたに違ひない言葉は碌に分らず事情にも一向疎い日本人が兎に角生産界に可なりの地歩を成して來たのは一にその賜である、私は此日本人の素質が白人の差別觀の爲めに害せられる我ょの利益を補ふに絶對必要なものと信じてゐる、何時であつたか云ふた樣に若し日本人が伯人同樣な暢氣坊であつたら白人からは黑ンボと同等にしか扱はれない事は請合である、我ょは一くせあるお蔭でのみ辛ふじて存在を續けて行ける者であるに徹底的に自覺せねば駄目である、少し許り白人からチヤホヤ言はれて忽ち有頂天になる連中はイソップの鳥同樣折角持つてゐる翼を落して了ふだらう。

前にも云ふ通り我ょは日本人である、伯國で生れて伯國で育ち伯國で結婚して伯國人である子を生んだにしても眼が吊り上つて顏色が黄色な限り誠にお氣の毒だが依然亞細亞人であることに異りはない、如何に日本人離れがしたと言ふた所で洋服が少ょ上手に着こなせる位のもの所詮はお茶漬が喰いたくなる生理作用の持主である、金輪奈落日本と緣切つちもうなど日本なる國家の存在してゐる限り到底出來るものでない、それだけでなし日本は同化論者に厄介がれてゐるに拘らず總体としては文化的にも經濟的にも遅んで行きつゝある、在留邦人が母國と緣切るのは日本の損失より當人の損失の方が大きい、學術にも技藝にも遙に遅んでゐる母國の文化を捨てゝ只管在留國の低度な文化にのみ活きんとするは我ょの理性の打算的な點からも許されない、我ょの子孫は名に於ては當然ブラジル市民となるが絶海の孤島ならイザ知らず毎日新聞の出る土地に居て如何して日本なる國が世界に在るのを心から忘れることが出來ようぞ。

故に我ょが伯國の社會に確かりした地位を保つて行くには日本人に特有な素質の良いものを失はぬことが必要であり又個人として優つた人間を成就するには伯國の文化だけでなく日本の教養をも採り入れねばならぬ、而して之が爲には伯國の教育と今時に日本の教育も緊要である、之は邦人學校の必要を必ずしも絶對的にする者ではないにしても慥に夫を存在せしむる有力な理由とならねばならぬ。

以上述ぶる所の邦人學校必要の理由が正しいとすれば我ょは夫を設くる爲め適當の手段を講ずべきであるが邦人學校を作るにも又諸種の支障がある、その第一は植民地の經濟上の能力である、小さなものでも學校と名のつた以上粗末なものを作つて十コントス内外かゝる、教師一人に月少なくも四五百は拂はなくてはなるまい故に五六家族位の集團地では學校の建設はをろか、教師の給金を拂ふさへ相當な重荷となる、然し校舍は場合に依つては物置きの樣な所を改修して之に充てられぬこともないから經營費として教師の給料その他に約五六百ミルの負擔は家族數が三十に上れば最早たいした難事ではあるまい、要するに經濟上の支障は家族數に依て解決されるより他ないであらふ、而して今日日本人集團地には大抵の場合三十や四十の家族は移住してゐるのだから經營費の支辨位は何とかやつて行けよう、問題は校舍だが之は前にも言ふ樣に都合つく迄物置でも代用して澤山である、結局三四十家族居れば如何にか學校は拵へられると言へる、序に言ふ領事館が校舍の建設に補助を與へてゐるのは悪いことはないが余程能く調査してやらぬと前回も云ふた樣に相當な金高が行衛不明になる事があるそれに校舍は物置きで間に合はせられぬこともないのだからそれよりモット補助を有意義にする所へ出すがよいと思ふ、それは教員（伯人）であるが後段に述べる。

第二の支障は伯國の法規と抵觸する爲めに起るものだが實際上此點からのみ今日邦人學校は思切つてやれぬのである、我ょの學校經營の目的は就學期の兒童を教育するにあるのだが伯國では十才以下の兒童には外國語で學課を授くるを得ずと云ふ頗ぶる野暮な法律が設けられてある十才以下の兒童を收容出來ないでは我ょの學校經營は半ばその意義を失つて了う、又學校が公認になると其處は十才以下の子供にも外國語での教授は出來ない、

COLLEGIO CATHOLICO JAPONEZ
SÃO FRANCISCO XAVIER
Rua da Liberdade, 148 - S. Paulo

法人聖フランシスコ學園
邦人子弟の理想的教育機關
寄宿舍、通學、夜學校
◎男子部
一寄宿料　月謝共一百圓、尙寢具は一切當園より支給す　一特長　兒童の情操教育、上級學校への準備に最も意を注ぐ　一入園資格　滿八歲以上
◎女子部
一場所　伯人經營の一學校内　一學科　裁縫を主とし一日二時間葡語の勉强　一費用　男子部と同じ
詳細は左記へ
聖市リベルダーデ街一四九
主任　青木新刀

CASA DE ARMAS
Rua Irmã Simpliciona, 16 - S. Paulo

各種護身用ピストル。獵銃其他附屬品一切。蓄音機。ミシンの販賣並に修繕。メッキ。着色は責任をもつて御需めに應ずる當店へ

渡邊銃器修繕所
聖市イルマンシ・シリプンオ一八一
電話　二一二六四

六ヶ年契約者募集
一、當耕地に於て拾五万株の珈琲栽培者を六ヶ年契約にて募集す、希望者は直接來談又は邦文或は葡文にて耕地事務所に御照會せられたし
ドラデンセ線ノーバヨーロッパ驛
イタケレー耕地事務所
Ao Fazenda Itaqueré
Estação Nova Europa
Linha Douradense

土地賣り貸し度し
聖市郊外線に沿ふ清淨な流れ及びマットのある果樹栽培又は養雞に好適の地を格安にて月賦賣又は貸たし
申込は
Amorgado
Praça da Sé 43-4. andar sala 443 e 433

矢部ザカレ
共同洋服店
米國紳新型、迅速叮寧、安價
お急ぎの場合は十二時間で仕立ます期日迄に出來上らねば代金は申受けません
月賦の便あり
Praça da Sé, 9-2 and. Salaõ
Telephone 2-4364

KALKMANN IRMÃOS & PETERS LTD.
Rua das Flores 46 - Caixa, 1970
SÃO PAULO
Insecticidas e Fungicidas "Bayer"

ウスプルン・ユニベルサル
本劑はアロイス、ミリヨ、綿、野菜類及びバタチイニヤの殺菌消毒を目的として砒素と水銀との有機体を基として調合されてあり特にバタチイニヤに共の効著しく、在聖市日本帝國總領事館農事部がコチヤ山下龜吉氏農場に於て御試驗の結果優秀にして且經濟的なる種芋消毒劑なる事日伯新聞第六百十一號に御發表ありしものであります
ウスプルン・ユニベルサル及バアヤー殺虫劑及消毒劑の目錄表御一報次第進呈
NOSPIRIT（はバタチイニヤ、マテ共他の病虫害に特効あり）
NOSPRASIT（はバタチイニヤ、トマテ等のバキーニア殺虫の速効藥棉のクリケリに特効あり）

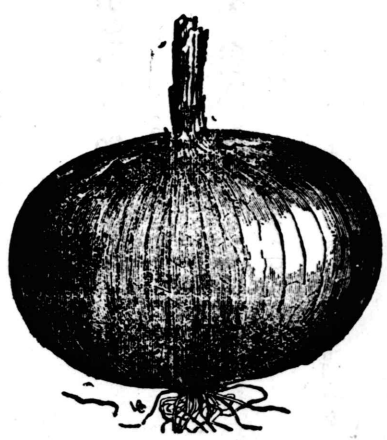
HOTEL CARLTON
Rua Libero Badaró 26-1.
ホテルカールトンは何故澤山の日本人方から御最負に預つて居るのでせうか
市中目拔の場所で、日本領事館は左隣り四軒目使用人達の親切丁寧、かゆい所に手の届く樣な客扱ひ、室は市内と思はれぬ閑靜で、しかも清潔、お美味しいお食事、そして大勉强のお値段
◎御出聖の際は是非ホテル・カールトンへ

至急の通信はラジオに限ります
最も安全に最も迅速にそして眞直ぐに目的地へ着く
本社はブラジルから發する一切のラジオは日本政府の受信局で受けられます。
VIA RADIO-BRAS
そして料金の一部は日本政府へ納められるのであります
電報號略語一報電通普…スーレ十五百鈆二十語一　スーレ五十七鈆六語一
CIA. RADIOTELEGRAPHICA BRAZILEIRA
RIO　Av. Rio Branco, 77 - Tel. Norte-0436
S. PAULO　Rua da Quitanda, 6 - Tel. 2-5335

Ford
AGENCIA FORD DO BRAZ
Alexandre Hornstein & Cia.
物凄い新型フォードの賣行きは
新型フォードの輕快と堅牢、すばらしい索引力
そして經濟な事
と共に現代自動車界の驚異です
◎是非一度御來店下さい◎
アベニーダ ランゼルベスタ一八五　電話　九…一一五三
工場　ブレッセル街二六五　電話　九…〇三二一

Fernando Hakradt Cia.
Rua de S. Bento, 33, 2 and. sala 7
CAIXA, 948 - S. PAULO
肥料
作物に肥料は一番大切です、弊店の肥料は獨逸式で芋、綿、野菜、珈琲、ミリヨ等夫ょ別の肥料を差上げます、品物は極上有効、日本人諸君には特に御便利を計ります
トラクッハ、ドンナルエフ會商
聖市アルベンサ三十三番
郵函九四八九一室號七階三

CASA DAS SEMENTES
CARLOS CORRADINI
RUA S. CALTANO No. 42 — TEL. 4-637 S. PAULO
飛切り新しい種子
當店の種子はヨーロッパ栽培者よりの直輸入にして特にセボーラの種子は大方の諸彦より賞讃されております



發芽の正確と優良なる品種は當店をおいては他に有りません
若し發芽せぬ場合は代金を返却致します
セボーラ・デ・カナリヤ、アルゼンチーナ、リオグランデ種等等、セボーラ種子は、各種共一キロ三〇鈆、十キロ以上キロに付き二十五鈆

母國近信

形勢急轉し

日支交渉決裂

王、芳澤兩氏の第六次會見は未決定であつた撤兵時期につき討議したが王氏は四週間以内に撤兵完了を頑強に主張したに對し芳澤公使は訓電による事實不可能を答へた爲形勢急轉し濟南事件の責任問題に迄逆戻りし共同調査の交渉まで覆へされ會見五時間余の討議の結果一時解決調印迄傳へられた日支交渉も遂に決裂のやむなきに至り再び前途之暗中に葬り去られるに至つた。

三方日銀總裁の

貸出し警告

土方日銀總裁は各銀行に對して低利貸出し競爭防止のため警告を發することになつた。

四十年振りで

熊本に大地震

熊本縣下は四十年振りに大地震に見舞れたが水平動故に大した被害なき模樣である。

靜岡縣下の

大火二つ

靜岡縣御殿場にある製糸工場全燒し寄宿舍に就眠中の女工十三名事務員一名燒死した尙靜岡市新谷町にも火事あり五十五戸燒失したが損害不明。

中西代議士の

新黨倶樂部脫黨

新黨倶樂部の中西六三郎氏は床次氏の態度をあきたらずとなし脫黨屈を提出したどう時に新黨倶樂部内に動やう起り同氏の脫黨と共につづいて尙原耕、岩切重雄氏等數名の同黨代議士の動やうあり幹部狼ばいして極力引止め策を講じつあり。

樂觀を許さぬ

郵貯利下げ

郵便貯金利下げ中止論政友會内に起り遞信省側の銀行利下げ追隨論の前途は樂觀出來ぬに至つた。

臺灣總督の

南洋巡視

南洋に於ける支那商人の日貨排斥は重大視され出したので臺灣總督は四月頃實地視察に南洋へ向ふ事に決した。

木材の

關稅引上げ

木材の關稅引上げの結果新率は二割乃至一割三分と内定したと。

一月末の

國債總額

大藏省發表による一月末の國債總額は五十八億七百十八萬圓である

大藏省で立案中の

恩給法改正案

大藏省は恩給法を改正して給與條件である勤職年限を文官は十五年以上と二十年以上とに武官は十一年以上十五年以上に延長計畫中と今議會に提出の模樣である。

大同電力

ダム築造

大同電力では火力を廢止し木曾山中に面積諏訪湖程度のダムを築造し水力發電にする計畫で目下地勢調査中である。

農民代表三百名

米價引上げ運動のため帝都に乘込む

米騒動の本場富山縣から三百の農民代表が席旗を押し立てて米價引上げ運動の爲帝都目ざして乘込んだ、警視廳では縣當局よりの通知にいち早く警戒したが大した騒動がなかつた。

東郷元帥病む

東郷元帥は流行性寒胃に罹り病狀重く尙肺炎併發のおそれあり警戒中である

張學良氏

神經痛で重態

奉天よりの情報によれば張學良氏は神經痛で容態思はしからず必ずしも樂觀を許さぬ狀態にあると。

東京電燈の

高利社債借換計畫

東京電燈は三井、安田の兩銀行に交渉し高利社債九千萬圓借換を計畫中である。

萬國生理學大會へ

慶大加藤博士

慶應醫大の加藤精一博士は米國ハーバード大學の萬國生理學大會に神經傳導學說の發表の爲五名の助手と共に出席することになつた。

世相百態

▲離緣され妻と父を斬殺　福島縣庭坂町の荷馬車業山云本吉（八十）の婿佐藤反次郎（廿八）は家風に合はぬと云ふ理由で離緣されたのを怒り森吉及妻とし（二七）を斬殺し自分も自殺を計つて果さず逮捕された。

▲就職難で青年の自殺　横濱市石川仲町本多繁次郎長男正雄（廿）がはるばる滿洲の養家先から來阪し爾來大阪河原町の初瀨旅館に泊つて就職口を探して居たところ所持金を費ひ果し遂に自殺を決心し猫いらずを服用苦悶中を同館の女中が發見し早速手當を加へたが生命覺束なしと。

▲遊興費欲さの狂言　大阪住吉町の日本フキルム株式會社員大久保五郎（廿六）は同所村尾ドック會社の道路で二人組の强盜にをそはれ現金六十一圓を强奪されその上歐打されて重傷を負ふた旨届け出たが不審の點あり取調の結果遊興費に困つたあげくの狂言と判明。

▲狂ふた娘の狂母殺し　山口縣の秋穂村の富永さよ（卅三）は出刃包丁を揮つて數年前より精神に異狀を來し療養中の母きく（五十）を斬りつけ重傷をおはしめ遂死に至らしめた珍事がある娘も精神病者で常に爭そひつづけてゐたものだと。

▲刑務所に入れて食はして下さい　大阪天王寺區の大工職武村勇（廿三）は失職途方にくれた結果大阪驛から入場券で乘車し、列車が進行中『僕を只乘の罪におとして下さい仕事を與へてくれる人もなく暮らして行けぬに自殺も出來ない刑務所へ入れて食はして下ださい』としたためた殘片を車掌に差出し柳井驛で同所警察署にひき渡された。

▲家名を汚す兄を殺す　大阪府多奈川村谷口豊七（二一七）は自宅で實兄の豊吉（四四）を出刃包丁で斬りつけ即死せしめ所轄署へ自首した其原因は同家は村内の資本家であり豊吉は幼少よりわるくせあり家名を汚す事しば〳〵でために豊七は憤慨遂上の果上記の兇行に出でたものなりと。

Dr. K. DAIAN
MEDICO
ARAÇATUBA

大庵喜八
アラサツーバ
大原商店隣

CASA VIGNOLI
Rua Direita No. 13-D S. Paulo

◇眼鏡◇
視力試驗
修繕
双眼一切
カミソリ
測量器具
フイルム
乾板、燒付現像
其他一切
特に迅速
御申込方
御注文に應ず

◇寫眞機◇

Adubos Fortuna
RUA BOA VISTA NO. 23
Caixa, 1002 - S. Paulo

化學肥料販賣
硫酸アンモニヤ、智利硝石過燐酸石灰、硫酸加里、石灰窒素、骨粉、硫黄、殺菌劑、調合肥料、（パタ、野菜其他）地質試驗、フオルミシーダ、ペンゾクレオル類、フオルツーナ肥料製造
委托販賣業
若月操
倉庫　ビネイロ、メルカード際
自宅　ビネイロ、ペドローソ・デ・モラエス　三七

六年契約者募集
私のファゼンダで珈琲フオルマのため六年契約者を募集します、希望者は左記宛御照會下さい
バウリスタ線マリリア驛
松原安太郎
y. MATSUBARA - Caixa, 10
Marilia L. Paulista

急告
拜啓各位益々御清祥の段賀上候、然者小生共從來ドトール、アルバロ、ギアラエス氏所有土地分賣致居候處今回都合上一時中止致候間此段御通知申上候、追て地權其他は絶對に安全に付既に御購入の方は何卒御安心被下度尙アルバロ氏との交渉相纏り候節は再び分賣開始仕る可く候
バウリスタ線マリリア驛
松原安太郎
内藤眞
玉置隆三

OSWALDO CONCEIÇÃO & CIA.
Rua Amador Bueno, 104 - SANTOS
CHEVROLET
シブロレーとは新時代の要求に應ずる最も完備した自動車の代名詞です
上記サントス代理店は新古何れのカミニヨン或はアウトを安價にて提供致します
月賦拂の方法もあります

Laboratorio Chim. Phco. "Japonez"
RUA ASSEMBLÉA N. 31
SÃO PAULO
身体の悪い時は先第一に此の廣告を御覽下さい
左の宛名をキリトリて手紙の表に御ハリ下さい

病氣になつたらその初めに充分に手當をなさい手後れになるとドンナ名醫も治療がムヅカシクなります

タカ點眼藥	トラホーム、ハヤリメ、タゞレメ、ツカレメ等によし
タカ胃散	日本人の体質に合へる信用出來る唯一の胃腸の藥
タカ膏藥	メンチヨウ、ヨウ。等すべて痛みあるデキモノの特効スヒダシ藥
ピシノール軟膏	土マケ、タムシ、カユミあるデキモノ等皮膚病の特効藥
ポリヂアスターゼ	一時間に三五〇倍の澱粉を消化する世界中で最も强力の消化劑、肉及び脂肪を消化する酵素も多量に含んでおります
ポリビタミーナ	病後の回復時、産前産後、赤胸の病氣のある人に必要な理想的强壯劑、脚氣に特効あるは皆さんの御存じの事です
衛生ハミガキ粉	タバコをノム人は是否此の藥用衛生ハミガキ粉を用ひよ

【特製調劑】

サントニン錠	虫下し藥	アスピリーナ錠	熱サマシ頭痛リユマチ
甘汞錠	毒消し、腸殺菌藥	ユーキニーネ錠	老人、小兒の熱さまし
次硝酸蒼鉛錠	下痢止め	鹽酸キニーネ錠	マレータの特効藥
芳香ヒマシ油	下シ藥	クレオソート合劑	齒痛み止め
芳香アンモニア水	氣付け藥	ヨヂムチンキ	

◎販賣所　有名な日本人商店及びフアルマシア

通信病院　病氣にて御コマリの方は病氣の樣子をコマカク書いて御通知下されば、それぞれ專門の醫師に問ひ合せ御返事致します

大河内藥化學研究所
電話　二……四八一八

Hotel S. Paulo
Rua Generar Osorio, 24
TEL. 390
Ribeirão Preto
お泊りの節は休み心地のよい、そしてコミーダのおいしいので評判の……當館へ
御旅館　サンパウロ
館主　島崎岩吉
リベロン・プレート停車場通二四
電話……三九〇番

大阪商船會社
日本郵船會社
國際汽船會社
御用達
各船舶に食糧賣込業
ヤマカ合資商會
前田、小淵、合同經營
サントス港マルチン・アホンソ四一　電話　一九七三

HOTEL PAZ
Praça José Bonifacio, 91
SANTOS
サントスでお泊りは是非本館へ
ホテル平和
館主　小濱松助
大阪商船切符取次所

大阪商船會社仲次
伯國產煙節製造元
成功館
古謝將義
サントス市ラルゴ・セッテ・デ・セテンブロ一五
電話　一一〇〇八

◎ソロカバナ線巡演
人情講談浪花ぶし
四代目　盛川桂春

Kaito Ussui. Caixa, 140 Cambará E.F.S.P.P.
北パラナ、珈琲地帶
御望の方は多少不關白井介仁事務所へ御問合せを乞ふ

大阪商船會社指定乘船切符取次所
旅館潮
前田吉太郎

魚鹽辛　けずり節
三共商會
サントス市ランヂエル
ベスターナ四八
電話……一九二四
郵函……三二八

葡語修學者唯一の羅針盤
大武和三郎氏著
葡和辭典
葡和辭典
各冊送料共　金二十五針レース
大武和三郎氏著
葡語文法解說
送料共　金十三針レース
海外興業株式會社編
實用ブラジル語會話
送料共　金十一針レース

◇すばらしい内容の新年號雜誌
改造　八、〇〇〇　婦人倶樂部　七、〇〇〇
主婦の友　七、〇〇〇　婦女界　七、〇〇〇
婦人世界　六、〇〇〇　少年倶樂部　五、〇〇〇

瀨木商店
T. SEGUI - Caixa, 1771
Rua Conselheiro Furtado, 12 S. Paulo

水戸黄門 全國漫遊記

（三一）　渡邊迷波

▲此の馬が汝の眼には這入らんかッ

さてご老公一行は上方へ乗こみの道中筋にもいろ〳〵お話しもございますがこゝには省略いたしまして、ご一行は日を重ねられまして大津へお掛りに相成りましたが、この驛を離れると京都でございますが、併し京都へお立寄に相成れば御親類に當りまする近衛殿のお館へもお立寄りに相成らねばなりません、然ある時は水府の御前のお名前もパッと世間へ知れる道理でございますから先づ京都は後廻しといたされまして浪花の地に一時もはやく進まんと大津より方角を變へられまして伏見へお乗込みに相成り、それから三千石の夜船にお乗り遊ばして翌朝辰刻過ぎに無事大阪八軒屋へと到着に相成りました。

光「ア、時に助三郎、格之丞、久さであるから磯貝彌太夫の許を訪れて見やうではないか」

助「それは至極お宜しいことでございます」と云ふので先づ彌太夫の宅へ押し掛けること〻相成りました、この彌太夫は矢張り水府の家臣でございまして宮本流の劍道の先生でございまして先年武術修業のためお暇を戴きまして諸國をまわるうち、圖らずも大阪へ來りまして、當時船場のうち安土町中橋を東に入りまする處に立派な道場を構へまして、多くの門人に指南をいたし居るとのことを兼ねて御前もお聞及びでございますから先づこの道場へ落着くことにいたさんと、さてその般場の安土町と云ふ處を尋ねながら、八軒屋の濱から西へ取つてお出で遊ばして高麗橋筋へお掛りになりました、岩城三井等の呉服店を御覽なすつて今黒筋を南へ曲らうと遊ばす、すると馬方でございますが、一匹の馬をひきまして、南の方より馬の背には白木綿の荷物を着けまして馬子は餘ほど酩酊をいたして居りますから、手綱を引いて黒筋を東へ曲らうといたしました、双方の行合ひ、水府の御前にドンと行當りました、不意の事でございますから、アッとよろめきたまひ、傍の處へお倒れになりました、すると馬子はハッタとばかりに睨付けまして、

馬「ヤイ、この土百姓め、氣をつけろェ、こんな大きな馬を引つ張つて歩くのに、汝が目にや這入らねえか、田舎者といふものは仕樣のねえものだ怪我でもしたらどうしやアがる、この唐變木め態ア見ろ」大變な惡口でございます

某れ返つて、御前は見ていらつしやいますが、お言葉が掛りませんから、佐〻木濕美も背後の方でボンヤリといたして居りますと馬方はその儘行き過ぎんといたしまする、すると高麗橋通の西の方から一人の立派な武士、こゝへ通りかゝりましたが、今この休憩をみると、行きなり馬子の胸倉を確かりつかまへました、

武「イヤ下郎、如何に相手が百姓なればとて、己れの方から行當りながら、只今の惡口は何事だ、總てこのやうな大きな荷物を着けて往來をすれば何故貴樣は警をかけて通らぬ、又手前が行當つたら相手は百姓、殊に老人ではないか、何故引越して大きに粗相をいたしたと誤つて通らない、詫だ不らちな奴だ」と締上げました、馬子は眞つ青に相成りまして、

馬「アア痛い〳〵〳〵、どうか且那少しお弛めなすつて、首が締つて苦しうございます」

武「然らばこの百姓に誤れ、手を突いて誤れ」

馬「オヤ〳〵、飛んでもねえ處へ來らぬお世話で」

武「ナニ、何んと吐す」

馬「イヤ誤ります、誤つたら好いぢやございませんか、エーこりやお百姓樣、飛んでもねえ粗相をいたしました、どうか御勘辨を願ひます」

武「ナニ、笠を取らぬ方が宜しいそりやまた何ゆへに」

光「私の顏を見るとお前が迷惑するからのウ」

武「ヤイ百姓、武士に向つてお前とは何だ」

光「ハ、ハ、、、お前と言つたら好い言葉だ、お前はお前言はゞ御前といふも同樣ではないか」

武「ヤイ樣〻なことを吐す笠を取つてあい拶をしろ」

光「強つて取れなら、取りもするが、どうぢや勘さん大屁威張るな」

武「ナニ勘さん、變なことを貴樣は申すな」

光「ハ、ハ、勘さんで分らぬのならお前は中之島水戸家の藏屋敷留守居役の津〻良勘左衞門久しいな」

武「コリヤ百姓」

光「ハイ」

武「貴さまも隨分圖〻しい奴だな餘り馬方が惡口を申すから、それで身共が見かねて、汝に誤らせてやつたのだ、然るに汝は何故此方に禮を言はぬ、殊に笠を被つた儘で、餘ほど汝も野方途な奴だ」

光「ハ、ハ、、こりやどうも御咎めに預かりましたが却つて笠は取らぬ方が宜しい」

武「ナニ、笠を取らぬ方が宜しいそりやまた何ゆへに」

光「私の顏を見るとお前が迷惑するからのウ」

武「ヤイ百姓、武士に向つてお前とは何だ」

光「ハ、ハ、、お前と言つたら好い言葉だ、お前はお前言はゞ御前といふも同樣ではないか」

武「ヤイ樣〻なことを吐す笠を取つてあい拶をしろ」

光「強つて取れなら、取りもするが、どうぢや勘さん大屁威張るな」

武「ナニ勘さん、變なことを貴樣は申すな」

光「ハ、ハ、勘さんで分らぬのならお前は中之島水戸家の藏屋敷留守居役の津〻良勘左衞門久しいな」

武「ヤイ樣〻なことを吐す笠を取つてあい拶をしろ」

光「強つて取れなら、取りもするが、どうぢや勘さん大屁威張るな」

武「ナニ勘さん、變なことを貴樣は申すな」

光「ハ、ハ、、、お前と言つたら好い言葉だ、お前はお前言はゞ御前といふも同樣ではないか

コンデ街

外字新聞にひやかさるルースの停車場で默つて辻自動車に乘れば必ずルアコンデデサルゼーダスに持つて來るほど左樣に有名になつてる日本人の巢窟所は名にしあふ中矢商店の大看板を筆頭に瀨木商店、タバチンゲーラ藥店、遠藤商店小川旅館など何れも日本語の看板を掲げ一見して日本人町と云ふことが解るところから先頃二度迄外字新聞の化け込み記者が探訪に出掛け内幕をあばいてひやかしておる。その中で最も揮つてるのはタバチンゲーラ藥店の看板を評し、我々ブラジル人でさへタバチンゲーラと云ふ字の意味が解らぬのに日本人は手輕に之れをバラティロと譯して居るとか、また某料亭に往つたところ小女が出て來てノンテンコミーダパラブランコ（白人に喰はせる物なんかおまへん）とハネ付けられ這々の体で逃げ出したとか、其他いろ〳〵皮肉り廻はしてあつた、こうしてルアコンデは次第に外人の注目をひく樣になつたのは考へ物で聞けば町内には何とか云ふ會もあり、町長もあり町長の上のパトロンもある由なるが何とか申合せて餘り外人に目立つやうなことは控へることにしてはどうか。

來るは〳〵　新らしい同胞

またトラホーム患者

十九日サントス着の備後丸では新來同胞六百七人その夜直ぐに收容所に入つた二十日入港のモンテビデオ丸では七百九十八人これには社友杉山秀雄氏がボヤディロとして歸伯した、二船合計千四百五人で、その中備後丸にはまたしてもトラホーム患者が二人引掛りモンテビデオ丸は本稿締切迄には判明せなんだがこれも免れまいとのこと尙鎌倉丸の患者の内いよ〳〵イケないもの三人それに付き添ふ家族を合せて十四人は本國送還と決定した由。

テニスコート　また水につかる

一時天氣がなほつてコートの修繕が出來一二度テニスがやれ部員一同大に元氣ついて居たところ前週一杯また雨降りの爲め日本クラブのコートはまた〳〵一尺ほど水の下になつたが今週始から天氣恢復今度の日曜は保險付きやれると皆さん勇んでをるとか。

海興支店の移轉

いよ〳〵月末か移る〳〵の前ぶれがあつて以來約一ケ月電話のつけ替その他に妨げられ中々腰を上げなんだがいよいよ月末までには引越してしまう由尙同社員明穗極吉氏は家妹同伴來月のモンテビデオ丸で一時歸國それにつれて支店内に多少人繰上の移動があるだらうと。

田舍御大盡の上聖で　料理屋賑ふ

二十日から二十一日にかけ備後丸モンテビデオ丸の二隻が同胞移民を乘せて來るので出迎への爲め御大盡やボヤディロなどの出聖ありその爲め料亭青柳みくになど大繁昌、三味線のないだけが物足りない。

洗濯屋さん

自動車に飛ばさる

市内邦人洗濯屋長尾龍太郎氏は去る九日ルアタマングレーの海興支店前で運惡く何所かの自動車にハネられ左脚を大怪我。

堀江書記生危篤

かねて病氣中の領事館堀江書記生は去十七日サンジョゼーから歸聖したが病狀渉々敷からず次第に危篤に赴きつゝありと。

同仁會總會

來月十三日午後八時から日本クラブに於て第五回定期總會を開く由本年は中島總領事赴任以來始めての總會だから成る可く多數會員の出席を希望するとのこと。

濱口副領事　來月頃轉任か

パウル轉任と決つてる濱口副領事は未だ行くとも行かぬとも發表せずリオ南條書記生が來て事務引繼ぎをして來月十日頃引越しになるだらふと。

定例スキ燒

十七日午後八時から日本クラブの定例スキ燒會あり部員四十餘名出席今回は珍らしく中島總領事、川西領事なども顏をみせ皆と一緒に豚肉をつゝく、腹一杯になつた頃大河内幹事の川西領事紹介あり川西氏それに答へ中島總領事の口添あり堅苦しくなく終つて玉突園碁十時頃ハネ、これから誰が來てもスキ燒で形付ける由、大にバラートになつた譯なり。但しシミツタレた譯でなく大頭株はビールサイダーなど寄附するのだとか、それならきこへてをる

物價（サンパウロ市場）

米アグリヤ上（六〇）	八二、〇〇〇	
同　並等	七〇、〇〇〇	
同　カテ、上等	四〇、〇〇〇	
豆ムラチニヨ極上	九三、〇〇〇	
同　並等	九三、〇〇〇	
同　黄	一八、五〇〇	
ミリヨ	二二、五〇〇	
マンヂオカ上（五〇）	一七、〇〇〇	
仝　並	一九、八二五	
珈琲	二、八〇〇	
棉インラマ（アロバ）	六〇、七〇〇	
バナ、ナニカ（キロ）	〇、四〇〇	
同　マツサン	〇、七〇〇	
豚脂	六、〇〇〇	
肉（キロ）牛	一、三〇〇	
豚	二、八〇〇	
アスカル特（六〇キロ）	八六〇〇〇	
仝　上等	八二、〇〇〇	
仝　マスカボ	四九、〇〇〇	

爲替　邦貨一圓に付　三、八四〇

○日本行郵便締切　三月二十七日　四月三日

汽車時間表

▲リオ行
午前七時　仝八時　午後七時　仝八時
午前九時　仝十時

▲黑河行
午前五時　仝七時　仝七時半　午後
○時半　仝八時

▲サントス行
午前六時　仝八時　仝十時
午後○時半　仝二時半
仝四時四十分

▲パウル行
（ソロカバアナ）午前五時半　午後八時半
（バアウリスタ）午前八時　仝十時廿分　午後五時半

社員　蛭田德彌

今般ノロエステ線方面へ出張致させ候に付購續料其他便宜同人へ御支拂下され度候

昭和四年三月

日伯社

西村磨　水沼新

右の者共本社事務所に働いて居たところ惡いことをしたから本月五日限り出す、爾今關係なしレ

土地代理人募集

サンベルナルド土地月賦賣人を募集す。コミソン一割五分

希望者は左記へ

A. BIOLO & CIA.
Rua 3 de Dezembro, 5 (boixos)

大聖市の郊外

ノルテ驛から汽車賃九百レースの驛を去る三キロ、ビラ、クリマテリカに於て養蠶、穀類、果樹に好適な土地五十アルケレを投賣りすアルケレにつき五コントス内二コントスは即金で殘金は一コントの年賦拂とす。又一時金で五アルケレス以上購入者には特にアルケレ三コントス五百餘にて提供す、尙詳細は左記へ
Praça da Sé 34-3, and. Sala 343
（午前八時より十二時午后二時より六時）
尙視察者には自働車の用意あり

雜貨販賣
運送業
農産物仲買

ゑびす商店

峰松春二
北西線リンス驛
郵函一九二

DR. MELLO

Praça da Sé, 94 B - 1, and. - Sala 5

たつた五ミルの相談料

特に日本人諸君には安く親切に辯護致します

ドクトル メーロ

午後一時より四時迄

CASA TAIYO

Caixa, 76 - ALTO CAFEZAL

何品に限らず御客樣の御便利御德用を旨とし又親切第一に御用を承りますから何卒御引立を願ひます日本食料品、小間物、玩具、金物等日用品一切

太陽商店

小川健六
岡崎司三
アルト・カフエザール
サンルイス街
マリリヤ・パウリスタ
郵函七六
延長線

PHARMACIA BARROS
ARAÇATUBA

內外藥品一切

化粧品其他安價にて提供します

調劑は絕体正確です

ノロエステ線
アラサツーバ驛

バーロス藥局

郵函　五〇番
電話　一一番

愚妻美左雄儀

永々病氣の所藥石効なく本月六日死亡致候間此段御通知申上候

追て病中は度々御見舞下され彼此御手當に預り千萬辱なく、葬儀の節は御繁忙中遠路態々御會葬下され、且又過分の御芳志を戴き候段厚く御禮申上候、早速參堂一々御禮申述べきの所、混雜中其意を得ず略儀ながら紙上を以て御挨拶申上候

夫　松岡勝芳
義弟　元春
義弟　重春
實父　松岡政治
實母　近雄
弟　茂
弟　宅治
親　松岡政八
中村仁太郎
成　森田倉吉

松岡淺市儀

病氣のところ去月二十四日聖市サンタ・カタリナ病院に於て死亡致し遺骸はコチヤ村共同墓地に埋葬仕候間此段生前辱知諸彦に謹告仕候

追而葬儀の節は遠路態々御會葬なし下され千萬辱なく奉謝候、早速參堂一々御禮申述可き筈のところ混雜中其意を得ず、乍略儀紙上を以て御禮申上候

伯父　松岡政治
伯母　近雄
從弟　茂
仝　小藤
宅治
親　松岡政八
中村仁太郎
成　森田倉吉

改築御披露

拜啓時下冷凉の候と相成りました、手前ども此度座敷その他を取りひろげ多勢さま御獨りさま御好み次第の部屋をこしらへ、御料理萬端せい〳〵勉强いたすことにしましたから何卒舊に倍し御贔負御引立の程伏して願上ます　敬白

料亭　みくに　主人

總會開催廣告

來四月十三日午後八時よりサンパウロ市リベルダーデ街六六番地日本倶樂部に於て本會第五回定期總會開催可致此段廣告候也

一九二九年三月十五日

在ブラジル日本人同仁會

コンデ　四九
とうふ
もりした

子菓　防迫菓子店

聖市　コンセレイロ　フルダード五番

TERRENOS NA S. PAULO RAILWAY COMPANHIA

ESTAÇÕES DE S. BERNARDO E MAUÁ (Antiga Pilar)

PROPRIEDADE DE NESTOR DE BARROS

RUA LIBERO BADARÓ, 13 SOBRADO

Telephone 2-2847 - Caixa Postal, 219

絕好の土地　無二の機會

一、聖市の近郊、汽車で僅かに三十分、交通頗る便利の所サンベルナルドからマウア驛（舊稱ピラー驛）にかけての絕好な土地を廉價に而も長期無利息の好條件で分賣します

一、土地はラランジヤ、バタタ、アルゴドン、アロース、其他一般セレアエス果物野菜類の栽培に適します

一、地權は絕体に確實です、此點は少しも御心配を掛けません完全なチツロを差上げます

御觀察希望の方には自動車で御案內申上ます、尙詳細は左記へ御照會下さい

聖市、ルア、リベロ・バダロー十三番二階
電話二一二八四七
郵函　二一九

ネストロ・デ・バーロス事務所
代理人　大村正義

Ao Mundo Elegante

Henrique Kranz & Cia.
Rua Direita, 21
S. Paulo

聖市の流行は當店から

御婦人方用
外套、お召もの
お肌着一切
お値段は格安

M. HARADA
ENGENHEIRO

建築設計　製圖　土地測量　道路設計等の請負監督の御用命に應じます

公認技師　原田政平

R. Barão de Paranapiacaba, 1-9 and. 4e5
Tel. 2-3364 São Paulo

Escriptorio "Nippo-Brasileiro"

SEITOKU ZAKIMI & ATSUMI
Av. São João, 85-A 1° andar, sala 12
Caixa Postal, 3730 - Telp. 4-7150 - S. Paulo

カフエー
アルゴドン
セレアエス　等の收獲期

が參りました

誠實、迅速を信條として御用命をお待ち致して居りますから委托販賣その他皆、是非共弊商會に御下命下さる樣、又出張員派遣の際も御同樣御引立を御願申上げます。

詳細御一報次第御返答

聖市　奉仕商會

ABDULKADER PEREIRA & CIA.

GMC

一噸積ヨリ五噸迄の高級貨物車

一噸半積六シリンドロ

支拂法容易　初回拂ヒ額僅少

（日本語及び英語を話します）

Av. Rangel Pestana No. 128 Tel. 9-1082
SÃO PAULO

Jornal Japonez de maior circulação no Brasil

ASSIGNATURAS:
Para o Brasil:
Por anno ..... 30$000
Por semestre ..... 16$000
Para o Exterior:
Por anno ..... 60$000

NIPPAK SHIMBUN

Redacção e Officinas: Rua da Liberdade, 146 - End. Teleg. "NIPPAK" - Caixa Postal, 375 - Teleph. 2-6183

ASSUMPTOS DE HOJE:
Notas e Informações — Noticias do Japão — Uma missão erradamente desempenhada (suelto) — Um Inquerito Opportuno — Chronicas Mundanas — Folhetim de "Nippak"

Director: SACK MIURA | Anno XV | São Paulo — Quinta-Feira, 21 de Março de 1929 | No. 620 | Redactor: JORGE T. MIDORIKAWA

NOTAS E INFORMAÇÕES

A embaixada japoneza no Rio :á imprensa as seguintes declações:

Ficou assaz surprehendida com telegrammas da "United Press" e, pela sua má interpretação do to do ministro dos negocios esngeiros do Japão sobre a escie da corrente emigratoria para Brasil, deram logar a que a imensa tecesse commentarios, que ıda precisam de esclarecimen-s.

O primeiro telegramma é falho sua redacção. Elle deveria es: assim redigido, segundo as inmações que recebeu a embaida:

"O numero dos emigrantes janezes, que procuram pequenas opriedades no Estado de São ılo para se estabelecerem, ficou duzido ao minimo possivel, afim augmentar o dos emigrantes stinados á lavoura naquelle esmo Estado, conforme o desejo governo e dos fazendeiros pautas. Só neste sentido foi inforado o governo do Japão".

Como se vê, a "United Press" oduziu uma confusão, que não justifica. O redactor desta noia telegraphica confundiu a pavra "coolies" erroneamente emegada com outra "colonos", pois o estes, ou melhor, são estas milias de agricultores que os zendeiros paulistas desejam e ıe o Japão está fornecendo.

Em resumo, a embaixada ainda io tem noticia de alguma inforação official sobre a reducção ıs correntes emigratorias. Não ouve reducção; houve, sim, uma ansformação na especeie de nigrantes para o Brasil, a pedido proprio governo de S. Paulo, ıe ora deseja colonos para o ıltivo da lavoura e não pequeos proprietarios.

Aliás, só nesse sentido é que embaixador e o consul geıes do Japão têm sido informaos pelo respectivo governo do stado sobre a questão ora em co.

Além do mais, o governo do ıpão nunca pensou em mandar ara o Brasil os "coolies", por so que estes são chinezes de aixa classe, na totalidade solteios.

O governo japonez quer corresonder plenamente aos desejos do overno brasileiro, limitando, isto , reduzindo a vinda dos pequeos proprietarios, afim de augmenır a dos colonos japonezes, com ımilias.

Actualmente o Japão está preocupado na selecção dos emigranes, evitando, portanto, mandar ara aqui correntes emigratorias ompostas de "coolies", isto é, de ıdividuos considerados indesejaeis.

O Japão nunca fará tal coisa ara com o Brasil.

*

Entre certo escriptor desconhecido, cuja obra conseguira uma venda extraordinaria nos circulos femininos, e um amigo seu, tiveram a seguinte conversa:

— Como conseguiste vender tantas edições da tua obra tão rapidamente?

— Foi facil: logo que os meus livreiros expuzeram á venda a minha obra, publiquei pela imprensa um annuncio assim: "Procuro uma senhorita nas identicas condições da que apparece no romance de minha auctoria, para se casar commigo."

*

Pelo paquete japonez "Bingo Maru" entrando em 19 do corrente no visinho porto de Santos, procedente de Yokohama e escalas, vieram para este Estado 607 immigrantes japonezes destinados á lavoura. A viagem do "Bingo Maru" correu normalmente, tendo sido registrado durante a viagem dois nascimentos e um obito. Não se verificou molestia grave.

Hontem entrou no mesmo porto o paquete japonez "Montevidéo Maru", conduzindo 876 passageiros, dos quaes 798 immigrantes.

DR. S. TAKAOKA
MEDICO-OPERADOR
Rua Fagundes, 8
Tel. 2-4180
S. PAULO

MATRIZ - RIO
Rua Theophilo Ottoni, 85
CASAS NO JAPÃO
NAGOYA, KOBE E YOKOHAMA
Endereço Telegraphico: "HACHIYA"
Hachiya, Irmãos & Cia.
IMPORTADORES DE LOUÇAS, BRINQUEDOS, ARMARINHO E ARTIGOS JAPONEZES
R. Brigadeiro Tobias, 110
TELEPH. 4-7688
SÃO PAULO
CAIXA POSTAL, 2670

A INVERDADE que na redacção de um telegramma procedente de Tokio, pela agencia da empreza norte-americana de informações "United Press", houve na interpretação de um assumpto immigratorio, ficou patente com as declarações categoricas da nossa embaixada no Rio e do nosso consulado nesta capital prestadas á imprensa. As dependencias do ministerio japonez neste paiz revelam-se por isto conscientes das missões que empenham.

Os erros desta natureza são muito communs nas informações, sendo mais intensos com relação ás de procedencia japoneza, de onde só saem noticias que menosprezam a nação e o povo japonezes, e que só concorrem para descredito de uma nação até hoje mal conhecida pelos extrangeiros. Entretanto, podemos contar com um facto muito mais importante: a consciencia pura, imparcial e alheia ás paixões partidarias dos brasileiros não se deixa illudir por taes campanhas calumniosas de uma empresa de informações.

Só faltou a embaixada e o consulado saberem que o publico brasileiro é tão consciente que conhece facilmente o "erro de redacção" do telegramma que lhes foi objecto de tamanha perturbação. O tempo que se perde com as declarações tão desnecessarias, seria mais intelligente se o empregassem para fundação de de uma succursal de uma empreza de informações puramente brasileira, como por exemplo, a "Agencia Brasileira", em Tokio.

I. SHIOKAWA
UNICO IMPORTADOR DA PORCELLANA MARCA Noritake
SÃO PAULO
R. Brigadeiro Tobias, 96 e 96-B
TELEPHONE 4-6387
CAIXA POSTAL 1714
End. Tel. "ELNIPPON"

Edição de 8 paginas

DO JAPÃO

(Das Nossas Succursaes)

A QUESTÃO DO OURO

Conciliada a questão sino-japoneza, é possivel que a prohibição da exportação do ouro japonez encontre, no futuro não remoto, a opportunidade de ser revogada

TOKIO, Fevereiro de 1929 — Conciliada a velha questão sino-japoneza, objecto de serios commentarios em nossa roda politica e causa de incalculaveis prejuizos para o intercambio commercial das duas principaes nações asiaticas, e por conseguinte estabilizado o nosso cambio, é possivel que o nosso governo resolva, attendendo á velha aspiração de varias classes importantes, revogar a lei que prohibe a exportação do ouro.

Mesmo o sr. Mitsuchi, ministro da Fazenda, mostrou-se favoravel ao projecto, em uma entrevista concedida á imprensa local.

O Commercio Russo-Japonez

TOKIO, Fevereiro de 1929 — O addido commercial da Russia nesta capital forneceu á imprensa a seguinte nota:

"O commercio russo-japonez no trimestre que findou a 31 de dezembro ultimo teve incremento notavel. A Russia exportou ao Japão 6.469.000 yens e importou ..... 1.719.000 yens, accusando uma differença para mais de 2.921.000 yens, em relação igual ao periodo do anno anterior.

A encampação das ferrovias

TOKIO, Fevereiro de 1929 — Tendo sido terminados pela commissão de engenheiros do ministerio das Estradas de Ferro, os estudos preliminares sobre a encampação de varias redes ferroviarias particulares, pelo governo do Imperio, espera-se que o projecto seja apresentado ao Congresso, por estes dias. O fundo para fazer face a esta acquisição será angariado por meio de dividas publicas nacionaes que o governo vae emittir. São quinze o numero das estradas contemplaradas no quadro das que vão pertencer, brevemente, ao governo.

O maior "touring ship" do mundo

TOKIO, Fevereiro de 1929 — O paquete "Belgenland" da "Red Star Line" deu entrada no porto de Yokohama, em 28 de fevereiro ultimo, conduzindo 478 turistas norte-americanos, que aqui vêm realizar as excursões organizadas pela empreza americana de turismo "American Express".

O novel vaso da marinha mercante yankee que está dotado de todas as installações modernas para conforto dos viajantes, tem 28.000 toneladas de calado e um corpo composto de 600 tripulantes.

Incendio na legação da Polonia

TOKIO, Março de 1929 — Na madrugada de 29 de Fevereiro ultimo, manifestou-se um incendio no interior do edificio onde funcciona a legação da Polonia, tendo o sinistro desabado completamente o archivo da legação alli guardado. Segundo o inquerito instaurado pela nossa policia, a causa do incendio teve nas brasas deixadas num aquecedor collocado na sala de escriptorio, ao anoitecer de 28.

Para elevar o preço do arroz

300 representantes de classe em vehemente manifestação popular

TOKIO, Fevereiro de 1929 — A provincia de Toyama é centro de motins arrozeiros. Até hoje alli se verificaram varios motins de ordem economica promovidos pelos agricultores de arroz. Na madrugada de 15 do corrente, esta capital assistiu á entrada de 300 amotinados toyamaenses, que aqui vieram encorporados, empunhando uma bandeira feita de palha de arroz, a alta de preço de que querem gozar os agricultores de arroz. Devido ás providencias energicas tomadas pela policia, não houve alteração da ordem.

CHRONICAS MUNDANAS

Dura lex, sed lex...

Isso de dizer que a lei é dura já sahiu da moda... Hoje as leis são violadas com a maior amplitude, quando estas são constituidas pelos homens. A inviolabilidade de uma lei só se torna um facto perante os desprotegidos. Quanto ao resto, isso não acontece. Não o acontece porque, os fabricantes desta machina social são habilidosos, que deixam como sempre uma lacuna accessivel para admittir pretextos quaesquer de geitismo, em que o preto se transforma em branco em tres minutos...

Com a lei da natureza, porém, não acontecem taes faculdades. Podem as mão humanas fazer o que querem, mas violal-a, isso não! A lei natural é durissima, cuja inviolabilidade está manifesta clara e documentadamente, portanto, fóra de qualquer sophisma.

*

"Nippak Shimbun" noticiou em seu numero ultimo, sobre o possivel apparecimento do asia-americanismo, pelo qual fica conciliado o grave problema armamentario. Quer dizer que o velho preconceito racial sae agora sendo como tal, depois de passar por diversas phases de engrenagens do "refining mill" da opinião publica norte-americana. Todas as hypotheses e conjecturas preconcebidas pelos "millers" fundados sobre a doutrina de Monroe perderam, durante a passagem pelas rodas moendeiras, as cascas feias de outr'ora, as quaes, refinadas, apresentam uma feição jamais esperada pelos cidadãos da rica terra do Tio Sam. O imperialismo que tentára a victoria pela força das armas acham-no os *yankees*, não mais é o meio de augmentar a prosperidade potencial da patria de Washington. A luta a travar, o desafio a affrontar, não é com fogo que se fazem, nem se derrama nelles o sangue precioso do povo. A concorrencia commercial, a expansão industrial, sob as quaes deve sempre permanecer uma base firme de fraternidade humana, é que constituem hoje o ideal, é o que se resultaram do longo curso do "refining mill". Não discordo com a opinião do sr. Daller em affirmar que sem a relação com a Assia, ficam os Estados Unidos obrigados a fecharem 25 porcento das suas fabricas. Sem a fraternidade, sem o mutualismo, nação nenhuma poderá alcançar o surto de progresso a que está fadada.

E dito isto, quero repitir que *dura lex, sed lex...* Contra a lei da natureza, ninguem se oppõe.

Joe Maddi

Dr. Yempei Kikuchi
MEDICO
REGISTRO — IGUAPE

PHOTO
OTTO STUDIO
TELEPHONE, 2-5400
Rua da Liberdade' 70
SÃO PAULO

UM INQUERITO OPPORTUNO

Augmentou consideravelmente, desde poucos annos a esta parte, o numero das companhias e emprezas japonezas que funccionam na Republica. Alguns trazem beneficios ao paiz e outros ha que nada lhe offerecerão de util.

Afim de frisar o valor do que têm feito e estão fazendo no Brasil essas "kaishas", resolvemos abrir um inquerito cujo resultado publicaremos opportunamente.

Louças, Artigos Japonezes e Nacionaes
K. NISHITANI
IMPORTADOR E EXPORTADOR
Rua Conceição, 88
End. Teleg. NISHITANI
Caixa do Correio, 1134
RIO DE JANEIRO

"O JAPÃO EM SÃO PAULO"
— FUNDADA EM 1906 —
ARTIGOS JAPONEZES EM GERAL
RUA S. BENTO, 60 — S. PAULO
Telephone: 2-2788
Caixa Postal, 344

"FOLHETIM DE NIPPAK"

O CAMINHO TUMULTUOSO

Collaboração de Jacobi Maggiolli

V

Abandonado por Maricota, Luiz sentiu-se na necessidade de encher a lacuna aberta no "carnet" de sua vida monotona do sertão da Paranapiacaba. Por isso mesmo, o encontro inesperado com a mãe de Elza a bordo do vapor "Aguapé" lhe offereceu a opportunidade para tentar um novo voo de conquista á região amorosa de uma mulher, que o abandonara ha quasi dois annos. Para elle, as 48 horas de intervallo de um vapor para outro, representavam 48 dias, quando esperava a resposta de Elza que viesse amenizar o abalo doloroso de que fora victima o coração do jovem. Emquanto isto acontecia, Elza respirava o ar perfumoso de um lar novo na pittoresca paysagem do Alto da Boa Vista, em companhia do seu amante, sentindo o gosto artisticos dos arabes de uma lua de mel, na bella cidade do Rio de Janeiro. De vez em quando, os seus visinhos — familias remediadas — presenciavam a sahida do jovem par em auto, que se dirigia em direcção á praia da Copacabana. Taes passeios se repetiam até o dia em que Elza recebeu de uma parteira a quem tivera solicitado consulta, o conselho para não viajar mais no auto.

* * *

Elza chorava das ingratidões que a mão criminosa de um homem lhe proporcionara. Era esta a primeira vez em sua existencia, que viu ella empanada a eterna alegria que suppunha como a norma da vida humana. Só agora é que ella soube que neste mundo ha tambem valles de lagrimas que desviam o caminho da felicidade. "Ah! Se eu me não tivesse entregue áquella fera..." Assim pensava ella, sempre que o leite atormentavam-lhe nos tetos, chamando a criança internada no Asylo dos Orfãos, fructo de um amor sensual, de um sensualismo sem arte, tão mal acabado... Como um raio, veio á mente, nesse momento, uma idéa magnifica : "Se eu rescitar o amor de Luiz..." Quando isto ideiava, uma voz apressada gritou no portão: "Elza Macoube..." e foi-se, só deixando uma carta fechada por baixo da porta. Elza abriu a carta com as mãos estremecedoras, prejulgando que fosse algum aviso do Asylo. Mas essa previsão horrivel se transformou de um momento para outro em alegrias immensas, e Elza devaneava, pronunciando trez vezes o doce nome de Luiz.

* * *

Dahi poucos dias, a mocidade ubiaquarense via Luiz andar nas ruas com uma carta na mão, mostrando-a a todos como o vencedor na disputa de uma taça de honra universal a altofallar perante o publico, o seu feito grandioso.

(Continúa)